

平成 1 9 年度

第 2 回

(集団研修)

健康と栄養改善のための女性指導者研修  
実施要領

平成 1 9 年 1 1 月

独立行政法人国際協力機構 (JICA)

Japan International Cooperation Agency

## 目 次

|               |   |
|---------------|---|
| 1. コース基本情報    | 1 |
| 2. コース目的      | 1 |
| 3. 到達目標       | 1 |
| 4. 研修プログラム    | 2 |
| 5. 研修員参加資格要件  | 3 |
| 6. 研修実施体制及び運営 | 3 |
| 7. 研修の評価      | 4 |
| 8. 研修付帯プログラム  | 5 |
| 9. 研修・宿泊場所    | 6 |
| 10. その他       | 6 |

### 付 属 資 料

付表ー1 研修員の業務関連情報

付表ー2 研修カリキュラム

付表ー3 平成19年度日程表(案)

付表ー4 年度別受入実績表

## 1. コース基本情報

(1) コース名

和文：(集団) 健康と栄養改善のための女性指導者研修

英文：Group Training Course in Women Leaders' Training on Health Promotion and Nutrition Improvement

(2) 受入期間

平成 19 年 11 月 13 日 (火) ～平成 20 年 1 月 26 日 (土)

(3) 技術研修期間

平成 19 年 11 月 19 日 (月) ～平成 20 年 1 月 25 日 (金)

(4) 定員、割当国

定 員：8 名 (受入 10 名)

割当国：ベナン、ブルキナファソ、ガーナ、マダガスカル、ナイジェリア、  
セネガル、タンザニア、ザンビア、ニジェール、エリトリア

(下線は受入国)

## 2. コース目的

アフリカの女性指導者を対象に、コミュニティーでの食と栄養を核としたヘルスプロモーション活動を実施するために必要な様々な知識、技術、能力を習得することを目的とする。

## 3. 到達目標

- (1) 食と栄養を核としたヘルスプロモーション活動の意義を理解し、幅広い視野で地域住民の栄養と健康の関係を考えることができる。
- (2) コミュニティーでの食と栄養の問題を分析でき、対策のノウハウを習得する。
- (3) 自国民の生活環境に即した食生活・栄養改善を目的としたヘルスプロモーション活動の計画を策定できる。

## 4. 研修プログラム

### (1) 研修内容

来日後一週間のオリエンテーションの後、帰国までの期間、研修を実施する。主に講義、実習、視察、討論から構成される。

#### ア. 研修カリキュラム（付表-2 参照）

#### イ. ジョブレポート発表会（Job Report Presentation）

##### (7) 目的

- a. 研修員自身が問題点を再認識する
- b. 研修員相互間で問題意識を共有する
- c. 講師が研修員の業務内容、研修で習得したい技術・知識を理解する

これらの発表を通じ、講師より個々の研修員の期待に対してこの研修でできるところとできないことを明確に示す意見交換の場とする。

##### (イ) 発表内容

J/R 発表会において、各研修員は以下の3点について主に発表する

- a. 自国でどのような仕事に従事しているのか
- b. その仕事において現在どのような問題を抱えているか
- c. この研修の中で習得したい技術、知識

#### ウ. アクションプラン発表会（Action Plan Presentation）

##### (7) 目的

- a. 研修員が帰国後に取り組むべき課題を明確にする
- b. 可能な計画の立案能力向上
- c. 研修結果の資料として利用する

##### (イ) 発表内容

J/R で提言した問題点、また、研修中に新たに想定された問題点の解決のためのプロジェクトの計画を策定し、その目標達成のための活動計画（アクションプラン）を発表する。（A/P の必要記載事項として、プロジェクトタイトル、解決すべ

き問題とそれに対するプロジェクト目標、期間、場所、事業主体、活動内容など、  
についての記述を求める)

- (2) 使用言語 英語

## **5. 研修員参加資格要件**

当該コースに関わる General Information 記載条件

- (1) コミュニティを基盤とした栄養指導、衛生指導の政策（施策）、立案に従事し、  
3年以上の経験を有する中堅職員（保健局の職員等）
- (2) 栄養学の基礎的知識を有した大卒以上あるいは同程度の学力を有する者。
- (3) 年齢が45歳程度までの女性で、研修期間が長く、冬は道路が凍結して危険な  
ため妊娠していない方が好ましい。

各コース資格要件

- (1) 所定の手続により割当国政府から推薦されていること
- (2) 十分な英語能力を有すること
- (3) 身体的、肉体的に健康なこと
- (4) 軍隊に服役していないこと

## **6. 研修実施体制及び運営**

本研修コースは、コースリーダーの助言のもと、独立行政法人国際協力機構帯広国際  
センター（以下、JICA 帯広）が計画する研修コースの実施に関する業務を、社団法人  
北方圏センター（以下、NRC）に委託し、関係諸機関の協力により実施・運営するもの  
とし、具体的業務分担は次のとおりとする。

- (1) JICA 帯広
  - ア. 研修実施計画書作成（コース目的、到達目標、研修期間など）
  - イ. 研修の評価
  - ウ. 研修実施予算の執行管理

エ. 募集要項（G. I.）及び研修実施要領等の作成

オ. その他

(2) NRC

ア. 研修日程表の調整・作成

イ. 講師、見学先等への連絡・確認

ウ. テキスト、資料等の手配

エ. その他

(3) コースリーダー

研修の計画、実施、評価の全般にわたる技術的助言等

(4) 研修監理員（Coordinator：CDN）

技術研修期間中、財日本国際協力センター（JICE）所属の研修監理員（CDN）を配置し、コース実施・運営の円滑・調整を図る。

ア. 研修に係る関係者間の連絡調整

イ. 通訳業務

ウ. その他

## 7. 研修の評価

(1) 評価の目的

研修コースの到達目標（1 頁参照）に基づき、研修成果の測定、分析を通じてコース終了時に、当初目標の達成度を確認する。また、今後の研修で改善すべき点をあげ、本コースの研修内容の質的改善を図るものとする。

(2) 評価の方法

ア. コースリーダー等による個々の研修員の到達目標の達成度把握

イ. 個々の研修員による評価（Questionnaire）

ウ. JICA による評価

(3) 評価会

研修終了時に研修員が提出する Questionnaire（JICA 所定の様式による質問書）の記載事項の確認を中心とした評価会を実施する。

(4) 改善検討会

研修員の帰国後に、評価結果に基づき JICA、コースリーダー、講師、NRC 等が参加し、研修の目的・内容、プログラム構成、指導方法等について協議し、翌年度のコース改善に向けて対応方針を検討する。

## **8. 研修付帯プログラム**

(1) ブリーフィング

研修員来日直後に、JICA 帯広国際センターにおいて実施する。ブリーフィングでは、JICA の業務概要説明及びコース概要、研修員登録、パスポートビザの有効期間確認、支給される諸手当の説明等のほか、日常生活を送る上での諸注意を行う。

(2) ジェネラルオリエンテーション

JICA 帯広にて実施し、日本の社会・歴史・文化・政治・経済・教育などの日本事情の紹介を目的とする。

(3) 日本語講習

研修員は、研修のみならず国際交流事業に役立てるよう、簡単な日常会話程度の語学力修得を目的として 10 時間の日本語講習を実施する。

ブリーフィング・ジェネラルオリエンテーション・日本語講習日程

| 日 程                      | 内 容                                                   |
|--------------------------|-------------------------------------------------------|
| 11 月 14 日（水）             | ブリーフィング                                               |
| 11 月 15 日（木）<br>午前<br>午後 | ジェネラルオリエンテーション<br>講義「日本の社会と日本人」<br>講義「日本の経済」          |
| 11 月 16 日（金）<br>午前<br>午後 | ジェネラルオリエンテーション<br>講義「日本の教育」<br>講義「日本の政治、行政」「日本の歴史・文化」 |
| 12 月 4 日（火）              | 日本語講習                                                 |
| 12 月 5 日（水）              | 日本語講習                                                 |

## 9. 研修・宿泊場所

独立行政法人国際協力機構帯広国際センター（JICA 帯広）

所在地：〒080-2470 北海道帯広市西 20 条南 6 丁目 1 番地 2

Tel (0155)35-2001 Fax (0155)35-2213

独立行政法人国際協力機構東京国際センター（JICA 東京）

所在地：〒151-0066 東京都渋谷区西原 2-49-5

Tel (03)3485-7051 Fax (03)3485-7904

## 10. その他

### (1) 修了証書

この研修を修了した研修員に JICA から修了証書 (Certificate) を授与する。

### (2) 研修員の待遇

#### ア. 入国資格

日本で技術研修を受けるために来日する者は研修ビザを取得し、日本滞在中は日本国法規の適用を受ける。

#### イ. 滞在費

JICA の規程に基づき、本コースの研修を受けるために必要な手当が支給される。

### (3) 開発教育支援

「開発教育」とは、開発途上国の文化、社会、人々の暮らし、日本との関係などを知ることによって開発途上国に関心を持ち、「貧困問題」や「環境問題」など地球全体の構造的な問題を自分の問題としてとらえ、解決のために自ら行動することが必要であるという認識を広めることを目的として小・中学校の教育現場で実施されている。JICA はこの「開発教育」の支援に力を入れており、本研修コースの中に、地域の小・中学校や地域住民との相互理解のためのプログラムが含まれている。



独立行政法人国際協力機構 帯広国際センター  
〒080-2470 帯広市西20条南6丁目1番地2  
TEL : 0155-35-1210 FAX : 0155-35-1250  
URL : <http://www.jica.go.jp/worldmap/hokkaidou.html#obihiro>

平成19年度「健康と栄養改善のための女性指導者研修」コース研修カリキュラム

単位：日

| 科目                                                                       | 講義   | 演習  | 視察  | 討論  | 担当講師                                                     | 講義内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|--------------------------------------------------------------------------|------|-----|-----|-----|----------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>到達目標1:食と栄養を核としたヘルスプロモーション活動の意義を理解し、幅広い視野で地域住民の栄養と健康の関係を考えることができる。</b> |      |     |     |     |                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 日本の栄養政策とその変遷/<br>開発途上国における食事調査                                           | 1.0  |     |     |     | 国立健康・栄養研究所<br>研究企画評価主幹 健康・栄養<br>調査研究部長 吉池 信男<br>研究員 三好美紀 | 日本の栄養政策の現状と変遷および、政策策定の基礎となる国民栄養調査について解説する。また後半は開発途上国における栄養調査のうち、主として食事調査の実践と手法について学習する。                                                                                                                                                                                                                       |
| JICAの対アフリカ保健医療協力                                                         | 0.5  |     |     |     | JICA人間開発部                                                | 我が国の対アフリカ保健医療協力の実際を紹介しながら、人間の安全保障、TICA D、援助協調、HIV/AIDS対策などについてわが国のODAでの取り組みとスキームなどについて解説する。また研修員に対する帰国後の支援についても触れる。                                                                                                                                                                                           |
| 食文化論                                                                     | 0.5  |     |     |     | 帯広大谷短期大学<br>学長 多田 稔                                      | 歴史的パースペクティブにおいて日本の食文化を紹介。明治維新から第二次世界大戦後、現在に至るまでの「米」の果たした役割、米について創意工夫の産物を挙列し米文化の変容・影響を説く。                                                                                                                                                                                                                      |
| ヘルスプロモーション概論                                                             | 1.0  |     |     |     | 東京大学大学院<br>医学系研究科<br>教授 神馬 征峰                            | 個人の健康改善と地域全体の健康改善を考えるには個人のみならず地域社会全体での健康改善のための環境づくりが不可欠である。このような視点からヘルスプロモーションの概念が生まれ、1990年代にはProcede-Proceed Modelなどが紹介され先進国、途上国双方で注目されている。この概念は途上国の地域栄養改善などに特に有効であり、この手法をつかって地域診断と改善のための政策立案が可能である。本講義では各国の事情を踏まえながらヘルスプロモーションの概念と適用について解説するとともにコミュニティにおける「行動変容（Behavioral Change Communications）」についても触れる。 |
| 女性のエンパワメント・<br>リプロダクティブヘルス                                               | 1.0  |     |     |     | JOICFP                                                   | リプロダクティブ・ヘルスについて討論し、諸事例をあげながら効果的な女性のエンパワメントのための方法について学ぶ。またJOICFPが途上国で採用している紙芝居やBCC、マギーエロン、マグネルキットやCHW(Community health Worker)が使っている効果的なツールの利用法も紹介する。                                                                                                                                                         |
| HIV/AIDSと栄養(1)                                                           | 0.5  |     |     |     | 東京大学 クリシュナ講師                                             | 開発途上国におけるHIV/AIDSと栄養改善についてグループワークと討論を通じてHIV/AIDS罹患が栄養に与える影響と効果的な栄養改善のための方法を考えるセッションを行う。                                                                                                                                                                                                                       |
| HIV/AIDSと栄養(2)                                                           | 1.0  |     |     |     | JICA専門員 杉下 智彦                                            | アフリカにおける保健システムとHIV栄養改善のためのキャパシティデベロップメント(capacity development)について討論を通じて解説する。HIV-Nutrition Integrated programについても言及する。                                                                                                                                                                                       |
| アフリカと日本の食文化(学生との交流)                                                      |      | 0.5 |     | 0.5 | 帯広大谷短期大学                                                 | 調理を通じて研修員の有する知識や食品利用についての知見と日本の学生による食文化の交流を通じて栄養についての理解を深める。                                                                                                                                                                                                                                                  |
| <b>到達目標2:コミュニティでの食と栄養の問題を分析でき、対策のノウハウを習得する。</b>                          |      |     |     |     |                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 地域栄養                                                                     | 1.0  |     |     |     | 食・栄養改善フォーラム<br>理事長 足立己幸                                  | 開発途上国における地域栄養の実際と効果的な栄養改善のための方法を食生態学に基づいて解説する。またわが国の栄養改善の経験や問題点についても昼食作りの実習を通じて学ぶ。                                                                                                                                                                                                                            |
| コミュニティエンパワメントと<br>参加型栄養教育1、2                                             | 1.0  | 1.0 |     |     | 国立国際医療センター研究所<br>栄養障害研究室長 西田美佐<br>名誉市立短期大学<br>助教授 石川みどり  | 開発途上国における地域住民参加型の栄養改善のヘルスプロモーション方法を講義とワークショップで学ぶ。                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 栄養と代謝                                                                    | 0.5  |     |     |     | 帯広大谷短期大学<br>教授 池添 博彦                                     | 微量栄養素欠乏(ヨウ素欠乏症)と代謝について                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 栄養士の役割<br>栄養指導概論                                                         | 1.0  |     |     |     | 帯広大谷短期大学<br>教授 山崎 民子                                     | 栄養士の役割、栄養指導の成立と変遷、21世紀の健康づくりと栄養指導、日本の食生活の現状と問題点、食事計画、食生活・栄養教育の方法と技術、栄養指導の評価、特定給食施設別栄養指導                                                                                                                                                                                                                       |
| 糖尿病に関する演習・実習                                                             |      | 1.0 |     |     | 帯広大谷短期大学<br>教授 山崎 民子                                     | 糖尿病について。糖尿病交換表の使い方解説等。糖尿病のモデル食展示。糖尿病食の試作。                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 栄養素欠乏症及び改善料理<br>試作                                                       | 0.5  | 0.5 |     |     | 帯広大谷短期大学<br>教授 山崎 民子                                     | ビタミン欠乏症・ヨード欠乏症・鉄欠乏症について。ビタミンA、亜鉛、鉄、カルシウムを多く摂取可能な料理の作成。ヨードが摂取できる料理の試作。研修員の国にもある材料を使い、栄養改善のための献立作成・調理・説明・評価・討論を行う。                                                                                                                                                                                              |
| 自分の身体状況に合った献立<br>の作成及び栄養価計算・評価                                           |      | 1.0 |     |     | 帯広大谷短期大学<br>教授 山崎 民子                                     | 自己の適正体重・基礎代謝量・必要な栄養量を調べ、食料構成・レシピを作成、栄養計算、評価を行う。                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 食品の衛生・安全管理                                                               | 1.0  |     |     |     | 帯広大谷短期大学<br>教授 山崎 民子                                     | 衛生・安全管理の意義、食中毒・感染症について、ネズミ及び昆虫などの対策、事故防止、衛生管理体制、事故発生時の対応、衛生教育、安全管理                                                                                                                                                                                                                                            |
| 公衆栄養学                                                                    | 0.5  | 0.5 |     |     | 帯広大谷短期大学<br>教授 植田 志摩子                                    | 生活習慣病の国際比較/我が国の死亡統計に見る生活習慣病の実態/日本とアメリカの食生活指針/国民栄養調査(BMIを含め)などについて演習を交えながら理解する。                                                                                                                                                                                                                                |
| 食品の保蔵と加工                                                                 | 0.5  | 0.5 |     |     | 帯広大谷短期大学<br>教授 池添 博彦                                     | 食品の加工理論、加工法と加工技術、及び各種保蔵法<br>大豆を使った加工品の紹介                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 食品加工・保存技術                                                                | 0.5  | 0.5 |     |     | 食品加工技術センター                                               | 地場産品を使った最新の加工技術と帰国後応用可能な加工技術の習得(大豆以外のトウモロコシなどの加工)                                                                                                                                                                                                                                                             |
| <b>到達目標3:自国民の生活環境に即した食生活・栄養改善を目的としたヘルスプロモーション活動の計画を策定できる</b>             |      |     |     |     |                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| ヘルスプロモーションの実践<br>的展開1、2                                                  | 2.0  |     |     |     | 増毛町役場福祉厚生課                                               | 事例を通じヘルスプロモーション推進のプロセスと促進要因、視点的持ち方などを学ぶ。また帰国後ヘルスプロモーションを推進していくための有効な方法についても触れる。                                                                                                                                                                                                                               |
| 食生活改善運動の歴史と流れ                                                            | 0.5  |     |     |     | 元生活改善普及員<br>川原 美穂恵                                       | 昭和35～45年ころの食生活を取り巻く農家の環境、農家所得、農家住宅、衛生状況、衣生活、農民の健康問題を通じて食生活改善運動の重要性を事例を通じて学ぶ。                                                                                                                                                                                                                                  |
| 健康帯広21の取組み                                                               | 3.0  |     | 3.0 | 0.5 | 帯広市保健福祉センター                                              | 我が国の21世紀の保健政策の中心となる健康日本21の政策と現場での取り組みを紹介する。・帯広市の保険事業・母子保健事業・成人保健事業                                                                                                                                                                                                                                            |
| 保健所の組織・役割と公衆衛生<br>業務、生活習慣病                                               | 1.0  |     | 0.5 |     | 北海道帯広保健所                                                 | 我が国の保健所の概要、栄養・衛生行政、栄養士業務について<br>栄養相談、試験検査室の視察。生活習慣病について(医学的見地から)。                                                                                                                                                                                                                                             |
| エイズ予防啓発事業推進活動                                                            | 0.5  |     |     |     | アーニー出版<br>北沢 杏子会長                                        | HIV/AIDSは全世界で深刻な健康問題となっているが、本講義では地域の住民に対する啓発活動事業推進のための効果的な手法をロールプレイ、パベットなどを用いた参加型手法で学ぶ。                                                                                                                                                                                                                       |
| 現場実習(北斗病院)                                                               | 0.5  | 0.5 |     |     | 北斗病院                                                     | 病院の栄養士の役割、栄養療法の実際を院内見学を行いながら学ぶ。我が国の地域医療におけるレファラルシステムを理解する。                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 学校給食共同調理場                                                                |      |     | 0.5 |     | 帯広市学校給食調理場                                               | 小・中学校における児童生徒の栄養と給食について視察しながら学校保健の有効性を紹介する。                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 思春期における性教育                                                               | 0.5  |     |     |     | 釧路市こども保健部健康推進課                                           | 思春期の子ども達を取り囲む性に関する問題に対し、「若者づくり」「家庭環境づくり」「地域づくり」という包括的な取り組み、民間活動との協同等、行政(釧路市)の活動を紹介する。                                                                                                                                                                                                                         |
| JICAプロジェクト形成手法                                                           | 1.0  | 1.0 |     |     | GLM(グローバルリンク・マネジメント)                                     | JICAのプロジェクト案件形成(計画策定)から実施管理、評価について理解し、PCM手法の要となるロジカルフレームワークによるプロジェクト管理手法を習得する。                                                                                                                                                                                                                                |
| アクションプラン検討会及び<br>意見交換会                                                   |      |     |     | 3.0 | 東京大学教授 神馬 征峰<br>コースリーダー 崎坂 香屋子                           | ヘルスプロモーションの理論などに依拠しながら各研修員が本研修を通じて得た知見をもとに帰国後の行動計画を具体的に作成してもらう。またそれを効果的に発表するための取りまとめ方について適宜助言を与える。                                                                                                                                                                                                            |
| 合計                                                                       | 21.0 | 7.0 | 4.0 | 4.0 |                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |

平成19年度（集団）「健康と栄養改善のための女性指導者研修」コース日程表（案）

| 日程     | 曜日 |     | プログラム                                | 担当                    | 会場     |
|--------|----|-----|--------------------------------------|-----------------------|--------|
| 11月13日 | 火  |     | 来日                                   |                       |        |
| 11月14日 | 水  |     | 集合ブリーフィング                            |                       | JICA東京 |
| 11月15日 | 木  |     | ジェネラルオリエンテーション                       |                       | JICA東京 |
| 11月16日 | 金  |     | ジェネラルオリエンテーション                       |                       | JICA東京 |
| 11月17日 | 土  |     | 休日                                   |                       |        |
| 11月18日 | 日  |     | 休日                                   |                       |        |
| 11月19日 | 月  |     | JICAブリーフィング/コースオリエンテーション/ジョブレポート要約発表 |                       | 国総研    |
|        |    | 講義  | JICAの対アフリカ保健医療協力（午後）                 | JICA人間開発部 竹本氏         |        |
| 11月20日 | 火  | 講義  | エイズ予防啓発事業推進活動（午後）                    | アーニ出版 北沢杏子会長          | アーニ出版  |
| 11月21日 | 水  | 講義  | 女性のエンパワメントとリプロダクティブ・ヘルス              | JOICEP                | JOICEP |
| 11月22日 | 木  | 視察  | 醤油工場見学                               | 高橋弥次右衛門商店             | 日光市    |
| 11月23日 | 金  | 午前  | アジア太平洋公衆衛生学会～開発途上国の栄養問題～             | 「栄養問題の最新の課題」WHO 西田博士  | 女子栄養大  |
| 11月24日 | 土  |     | 休日                                   |                       |        |
| 11月25日 | 日  |     | 休日                                   |                       |        |
| 11月26日 | 月  | 講義  | ヘルスプロモーション概論/アクションプランについて            | 東京大学大学院医学系研究科 神馬教授    | JICA東京 |
| 11月27日 | 火  | 講・実 | JICAプロジェクト形成手法                       | GLM(グローバルリンク・マネジメント)  | JICA東京 |
| 11月28日 | 水  | 講・実 | JICAプロジェクト形成手法                       | GLM                   | JICA東京 |
| 11月29日 | 木  | 講・実 | 地域栄養                                 | 食・栄養改善フォーラム 足立理事長     | みなみかぜ  |
| 11月30日 | 金  | 講・討 | HIV/AIDSと栄養(1)                       | 東京大学 クリシュナ講師          | JICA東京 |
|        |    |     | 東京部分研修まとめ                            | 崎坂コースリーダー             |        |
| 12月1日  | 土  |     | 休日                                   |                       |        |
| 12月2日  | 日  |     | （移動 東京→帯広）                           |                       | 帯広     |
| 12月3日  | 月  |     | 入館式・帯広ブリーフィング                        |                       | JICA帯広 |
| 12月4日  | 火  |     | 日本語講習                                |                       | JICA帯広 |
| 12月5日  | 水  |     | 日本語講習                                |                       | JICA帯広 |
| 12月6日  | 木  |     | 市長表敬/ジョブレポート発表会                      | 崎坂コースリーダー             | JICA帯広 |
| 12月7日  | 金  | 講義  | 食文化論                                 | 帯広大谷短期大学 多田学長         | 大谷短期大学 |
|        |    | 講義  | 栄養と代謝                                | 帯広大谷短期大学 池添教授         | 大谷短期大学 |
| 12月8日  | 土  |     | ホームビジット                              |                       |        |
| 12月9日  | 日  |     | （移動 帯広→札幌）                           |                       |        |
| 12月10日 | 月  | 講義  | ヘルスプロモーションの実践的展開1                    | 増毛町役場福祉厚生課            | JICA札幌 |
| 12月11日 | 火  | 講義  | ヘルスプロモーションの実践的展開2                    |                       | JICA札幌 |
| 12月12日 | 水  |     | （移動 札幌→帯広）                           |                       |        |
| 12月13日 | 木  | 講義  | 栄養士の役割、栄養指導概論                        | 帯広大谷短期大学 山崎教授         | 大谷短期大学 |
| 12月14日 | 金  | 講・実 | 食品の保蔵と加工                             | 帯広大谷短期大学 池添教授         | 大谷短期大学 |
| 12月15日 | 土  |     | 休日                                   |                       |        |
| 12月16日 | 日  |     | 休日                                   |                       |        |
| 12月17日 | 月  | 演習  | 糖尿病に関する演習・実習                         | 帯広大谷短期大学 山崎教授         | 大谷短期大学 |
| 12月18日 | 火  | 講・演 | 栄養素欠乏症及び改善料理試作                       | 帯広大谷短期大学 山崎教授         | 大谷短期大学 |
| 12月19日 | 水  | 演習  | 自分の身体状況に合った献立の作成及び栄養価計算・評価           | 帯広大谷短期大学 山崎教授         | 大谷短期大学 |
| 12月20日 | 木  | 講・演 | HIV/AIDSと栄養(2)                       | JICA 杉下専門員            | JICA帯広 |
| 12月21日 | 金  | 講義  | 日本の栄養政策とその変遷/開発途上国における食事調査           | 国立健康・栄養研究所 吉池部長 三好研究員 | JICA帯広 |
| 12月22日 | 土  |     | 休日                                   |                       |        |
| 12月23日 | 日  |     | 休日 天皇誕生日                             |                       |        |
| 12月24日 | 月  |     | 休日                                   |                       |        |
| 12月25日 | 火  | 講・実 | 学生との交流「アフリカと日本の食文化」について              | 帯広大谷短期大学 池添教授         | 大谷短期大学 |
| 12月26日 | 水  | 演習  | 公衆栄養学                                | 帯広大谷短期大学 植田教授         | 大谷短期大学 |
| 12月27日 | 木  | 講義  | 食品の衛生・安全管理                           | 帯広大谷短期大学 山崎教授         | 大谷短期大学 |
| 12月28日 | 金  |     | アクションプラン討論会I                         | 東京大学神馬教授/崎坂コースリーダー    | JICA帯広 |

## 平成19年度（集団）「健康と栄養改善のための女性指導者研修」コース日程表（案）

|        |   |     |                                |                          |             |
|--------|---|-----|--------------------------------|--------------------------|-------------|
| 12月29日 | 土 |     | 年末年始祝日                         |                          |             |
| 12月30日 | 日 |     | 年末年始祝日                         |                          |             |
| 12月31日 | 月 |     | 年末年始祝日                         |                          |             |
| 1月1日   | 火 |     | 年末年始祝日                         |                          |             |
| 1月2日   | 水 |     | 年末年始祝日                         |                          |             |
| 1月3日   | 木 |     | 年末年始祝日                         |                          |             |
| 1月4日   | 金 | 講義  | community empowermentと参加型栄養教育1 | 国立国際医療センター研究所<br>西田 美佐室長 | JICA帯広      |
| 1月5日   | 土 | 講義  | community empowermentと参加型栄養教育2 | 名寄市立大学 石川 みどり准教授         | JICA帯広      |
| 1月6日   | 日 |     | 休日                             |                          |             |
| 1月7日   | 月 | 講・視 | 保健所の組織・役割と公衆衛生業務               | 北海道帯広保健所                 | 帯広保健所       |
|        |   | 講義  | 生活習慣病                          |                          |             |
| 1月8日   | 火 | 講・実 | 健康帯広21の取組み                     | 帯広市保健福祉センター              | 帯広市保健福祉センター |
| 1月9日   | 水 | 講・実 | 健康帯広21の取組み                     | 帯広市保健福祉センター              | 帯広市保健福祉センター |
| 1月10日  | 木 | 講・実 | 健康帯広21の取組み                     | 帯広市保健福祉センター              | 帯広市保健福祉センター |
| 1月11日  | 金 | 講・実 | 健康帯広21の取組み                     | 帯広市保健福祉センター              | 帯広市保健福祉センター |
| 1月12日  | 土 |     | アクションプラン討論会Ⅱ                   | 東京大学神馬教授/崎坂コースリーダー       | JICA帯広      |
| 1月13日  | 日 |     | 休日                             |                          |             |
| 1月14日  | 月 |     | 休日                             |                          |             |
| 1月15日  | 火 | 講・実 | 健康帯広21の取組み                     | 帯広市保健福祉センター              | 帯広市保健福祉センター |
| 1月16日  | 水 | 講・実 | 健康帯広21の取組み                     | 帯広市保健福祉センター              | 帯広市保健福祉センター |
| 1月17日  | 木 | 講・視 | 学校給食共同調理場視察                    | 学校給食調理場                  | 学校給食調理場     |
|        |   | 講・実 | 健康帯広21の取組み                     | 帯広市保健福祉センター              | 帯広市保健福祉センター |
| 1月18日  | 金 |     | 学校訪問                           |                          |             |
| 1月19日  | 土 |     | 大谷短期大学国際交流センター（学生との交流）         |                          |             |
| 1月20日  | 日 |     | 休日                             |                          |             |
| 1月21日  | 月 | 実習  | 食品加工・保存技術                      | 食品加工技術センター               | 食品加工技術センター  |
| 1月22日  | 火 | 講・実 | 現場実習（北斗病院）                     | 北斗病院                     | 北斗病院        |
| 1月23日  | 水 | 講義  | 食生活改善運動の歴史と流れ                  | 元生活改善普及員 川原 美穂恵          | JICA帯広      |
|        |   | 講義  | 思春期における性教育                     | 釧路市こども保健部健康推進課           | JICA帯広      |
| 1月24日  | 木 |     | アクションプラン討論会Ⅲ                   | 東京大学神馬教授/崎坂コースリーダー       | JICA帯広      |
| 1月25日  | 金 |     | アクションプラン発表会                    | 崎坂香屋子コースリーダー             | JICA帯広      |
| 1月26日  | 土 |     | 帰国                             |                          |             |

## 年 度 別 受 入 実 績 表

### １．応募／選考（受入）人数

|     | 平成18年度 | 平成19年度 | 累計  |
|-----|--------|--------|-----|
| 応募数 | 10名    | 18名    | 28名 |
| 受入数 | 8名     | 10名    | 18名 |

### ２．研修員の出身国

| 国名      | 平成18年度    |            | 累計          |
|---------|-----------|------------|-------------|
| アフリカ諸国  |           |            |             |
| ベナン     |           | 1名         | 1名          |
| ブルキナファソ |           | 2名         | 2名          |
| ガーナ     |           | 1名         | 1名          |
| マダガスカル  |           | 1名         | 1名          |
| セネガル    |           | 1名         | 1名          |
| ザンビア    |           | 1名         | 1名          |
| マラウイ    | 1名        |            | 1名          |
| カメルーン   | 1名        |            | 1名          |
| タンザニア   | 2名        | 2名         | 4名          |
| ナイジェリア  | 2名        | 1名         | 3名          |
| モーリタニア  | 1名        |            | 1名          |
| ニジェール   | 1名        |            | 1名          |
| 合計      | 6カ国<br>8名 | 8カ国<br>10名 | 12カ国<br>18名 |